

第4章 環境施策

第1節 エコ意識・環境学習プロジェクト ～市民一人ひとりの環境への意識を高めよう～

環境に対する”エコ意識”は全ての施策の土台です。一人ひとりが“環境の今”を認識し、SDGsなど新たな考え方を取り入れながら“行動”していく必要があります。

3-1 エコ意識に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み(予定)
1	行政放送依頼回数	市民課	20回/年	14回	不法投棄の禁止や環境問題(不法焼却)についての行政放送を行った。	継続して実施
	広報誌掲載回数	市民課	3回/年	3回	不法投棄の禁止や生ごみの排出抑制等の広報を行った。	継続して実施
	ホームページ掲載ページ数	市民課	20ページ(2030年度までの累計)	19回	不法投棄防止強化月間等のホームページ掲載を行ったため19ページとなった。	継続して実施
2	年間のホームページ更新回数	市民課	1回/年		※計画初年度のため未掲載	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度行政放送依頼数は14回、広報誌掲載回数は3回、ホームページ掲載ページ数は19ページとなりました。環境基本計画の進捗状況の周知については計画初年度の年であったため、未掲載となっています。周知の内容については不法投棄事案が多数発生していたため、不法投棄の撲滅に向けた周知を徹底して行なっています。令和4年度についても、環境に関する情報収集を行い、最新の情報を市民の皆様にご提供できるよう継続して周知、啓発を行ってまいります。

< 環境指標・目標 >

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
3	曾於市一斉美化活動実施回数	教育委員会 社会教育課	1回/年	年1回 (3,349人)	青少年市民会議が中心となり自治会を対象に実施した	子ども会・自治会・校区公民館等が連携して実施する。
4	自治会への新規加入世帯	総務課	120世帯以上/年	93世帯	目標の進捗率78%であった。	転入や転居の際に加入推進のPRを図っていく。
	自治会の統合数	総務課	20自治会 (2030年度までの累計)	11自治会	令和3年度までに統合した自治会は11であった。	令和4年度に2自治会が統合予定であり、今後も自治会統合の推進を図る。
5	コミュニティ協議会設置率	総務課	100%設置 (2024年度以降)	3	第1次モデル地区3地区が協議会を設立した。	市地域コミュニティ活性化推進計画に基づき、今後も協議会設立の推進を図る。
	環境活動の実施	総務課	各協議会で 年1回以上実施	0回	各協議会は、地域づくり計画を令和3年度に作成した。令和4年度実施予定である。	各協議会の地域づくり計画を基に、活動予定。

進捗状況と今後の取組み予定

(教育委員会社会教育課)

曾於市一斉美化活動を令和3年度も実施し、総勢3,349名の方が参加しました。コロナ禍での活動であり若干参加者が減りましたが、世代間交流を図るとともに、ふるさとの良さを再発見し、地域ぐるみで環境美化を推進できる活動ですので、今後も推進して行きます。

(総務課)

令和3年度の自治会の新規加入に対する支援については、自治会及び新規加入世帯に対し助成金の交付を行い、また自治会統合については、自治会相談窓口により随時対応を行いました。令和4年度についても、自治会の新規加入推進を図るため、市民課窓口等で市内転入者等に対し自治会加入を啓発するとともに、自治会を統合したい自治会に対して、統合するまでのフローや補助金を自治会相談窓口で説明し、その啓発を行っていきます。

3-2 環境学習に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
6	水生生物調査, 自然観察, 自然体験学習, 史跡めぐり実施校数	教育委員会 学校教育課	23校/年	18校	学校周辺や地域の自然と親しんだ。	理科や総合的な学習の時間で, 学校周辺の植物や昆虫等の観察, 地元の川の水生生物の調査を行う。
7	環境教育全体計画表等の整備校数	教育委員会 学校教育課	23校/年	23校	環境教育の全体計画を教育課程に位置づけ, 自然とふれあい, 社会とふれあう活動を年間を通じて実践した。	今後も環境教育を教育課程に位置づけ, 積極的に環境教育を実施する。
	清掃活動実施校数	教育委員会 学校教育課	23校/年	18校	全校で計画されていたが, コロナ感染症拡大により, 密を避けるため中止となった学校もあった。	PTAと児童生徒合同で合同緑化作業を実施したり, 資源ゴミを集めるリサイクル活動を積極的に行う。
8	曾於市クリーンセンターの施設見学や研修, 環境講座の開催回数	市民課	4回/年	4回	曾於市内4校の社会科見学を実施した。	継続して実施
9	本市を訪れる観光入込客数	商工観光課	180万人/年	84万人	新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数が減少した。	継続して実施
10	新たな霧島ジオパークのジオサイト認定に向けて, 観光資源の発見・環境整備の状況報告	商工観光課	現状の報告	-	新規サイト拡大に向けてサイトカルテの作成を行った。	エリア拡大に向けて関係会議に参加し, 現地調査等への対応準備を入念に行う。

進捗状況と今後の取組み予定

(教育委員会学校教育課)

本市の自然環境学習のため, 市内小中学校すべての学校で, 総合的な学習の時間や生活科, 理科, 委員会活動などを活用し, 水生生物調査, 自然観察, 自然体験学習, 史跡めぐりを実施します。

小中学校における環境意識向上のため, 環境教育全体計画等を作成・実践するとともに, すべての小中学校で清掃活動を実施します。

(市民課)

曾於市クリーンセンターの社会科見学を4校実施しました。ビデオ鑑賞や施設内の見学を行い, 曾於市のごみ排出の現状とごみの流れなど知識を深めることができました。令和4年度についても, 同様に社会科見学の受入れを行い, 環境に関する知識を深めてもらえるように見学の内容を工夫しながら実施しています。

(商工観光課)

徐々に回復してきているとはいへ, 本市の観光入込客数は新型コロナウイルスの影響を大きく受けており, ウィズコロナに向けて, どれだけ観光客を呼び込めるか検討を行っていきます。

また, 霧島ジオパークについては, 新規サイト拡大に向けて新たなサイトカルテを作成し, 令和4年度はエリア拡大に向けた関係会議や現地調査等も実施される予定であり, 対応の準備を入念に行っています。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
11	レシピ集の制作及びそれを基とした料理教室の開催	農林振興課	1回/年	0回	新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。	継続して実施
12	食生活改善に関する教室の開催回数	保健課	50回/年	51回	離乳食教室が中止の月があったが、新たにフレイルの栄養教室を開催したため51回となった。	継続して実施
13	食品ロス削減推進計画の策定	市民課	策定 (2023年度まで)	未策定	進捗なし	2023年度策定に向けての準備を行う。
	30・10運動ポスター掲示店舗数	市民課	50店舗 (2030年度までの累計)			
14	新しい給食センターで地産地消	教育委員会 学校教育課	30%/年	-	新給食センター建設に向けて設計委託プロボ・業者決定	令和4年度新給食センター建設に向けて設計開始を行う。
	給食の残食率	教育委員会 学校教育課	小学校 2% 中学校 5%	小学校1.5% 中学校1.5%	目標達成	令和3年度より残食率が上がらないよう給食指導をする。

進捗状況と今後の取組み予定

(農林振興課)

料理教室は、新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。令和4年度については、感染状況等を見ながら、事業の実施を検討していきます。

(保健課)

食生活改善推進員の栄養研修や定例会・調理実習で36回(各町12回ずつ)、食生活改善推進員と連携した住民の方が対象の教室が4回、離乳食教室が新型コロナウイルス拡大のため5回中止となり、7回開催しました。新たにフレイル予防の栄養教室を3回開催したため合計で51回となりました。令和4年度も継続して食生活改善の活動の中で、食品ロスやごみ削減等について取り組みを進めていきます。

(市民課)

食品ロスについては、30・10運動はコロナ禍であるため、活動を控えている状況です。食品ロス削減推進計画は策定年が2023年度であるため令和4年度は策定に向けた取組を実施していく予定です。

(教育委員会学校教育課)

現在のところ目標値を下回っています。今後の取り組みとしては、各小・中学校の管理職・栄養教諭・指導主事を中心に食についての学習を通して、児童・生徒に食の大切さを理解してもらい残食が減らせるようにしていきます。

第2節 大気プロジェクト ～脱炭素社会の実現を目指し、きれいな空気を維持しよう～

地球温暖化問題に対して、2016年に日本でも地球温暖化対策計画が策定されました。本市においては、家庭や事業所でのごみの不法焼却や燃やせるごみの排出量の増加による温室効果ガス排出量の増加などの問題があり、安心・安全・快適に暮らせる環境の確保をするための取組が大気プロジェクトです。

3-1 地球温暖化対策に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
15	広報依頼回数	市民課	各1回/年	各1回	夏・冬それぞれ行政放送にて広報を行った。	継続して実施
16	交通事故件数	市民課 総務課	110件以下/年	44件	春・秋の交通安全運動期間を中心に行政放送及び街頭立哨を行った。	継続して実施
17	燃やせるごみの排出量 ※事業系除く	市民課	100kg未満/人・年	130kg	目標値を大きく上回ってしまった。	行政放送や広報誌等活用し、ごみ減量の広報回数を増やす。
18	クールビズ・ウォームビズ 広報依頼回数	市民課	各1回/年	各1回	夏・冬それぞれ行政放送にて広報を行った。	継続して実施
19	温室効果ガス削減率	財政課	-6% ※2013年度比	6.05%	空調の使用時間の制限 公用車の相乗り 等	継続して実施
	低排出ガス車率	財政課	10% (2030年度 までの累計)	4.21%	順次更新車両を基準に適合 したものに変更	継続して実施
20	10年間で取扱い用品につ いて、環境に配慮した商 品の購入品目数	会計課	50%以上 (2030年度 までの累計)	-	環境に配慮された商品の購 入を推進した。	継続して実施
21	気候変動 広報依頼回数	市民課	回/年	1回	行政放送にて広報を行っ た。	継続して実施
	気候変動適応に関する具 体的な取組み実施数	市民課	10施策 (2030年度 までの累計)	0	未実施	研修会等に参加し、知識習得及 び本市に適した取り組みの検討 を行う。
22	クールシェア・ウォームシェア スポット個所数	市民課	市内20個所 (2030年度 までの累計)	4箇所	公共施設4か所の登録を 行った。	継続して実施
23	思いやりバス・タクシーの 利用者数	企画課	51,000人/年	44,693人	年間を通じて思いやりバス・ タクシーを運行した。	継続して実施
	列車の本数の推移	企画課	上り下り+1便 ※2020年度比 (2030年度 までの累計)	0	未実施	JRへ便数増加の要請を行う
24	教室や体育館、武道場 の蛍光灯や水銀灯の 照明設備をLED電球へ 取替	教育委員会 総務課	100% (2030年 度まで)	35%	【市内23小中学校】体育館アリーナ 18校LED化。校舎は1校LED化。そ れ以外は随時照明設備の修繕時に 部分的LED化。	計画策定後の新築及び施設改 修を要する箇所については、併 せてLED照明を設置。
25	本庁舎への太陽光 発電システム設備・LED 照明設備導入	財政課	導入 (2022年度)	50	太陽光発電システムは導入済 LED照明設備については導入 未定	LEDの導入計画について検 討
	大隅・財部支所への LED照明設備導入	財政課	導入 (2024年度)	0	導入時期未定	今後導入について検討
26	ペーパーレス項目数	総務課	32項目 (2030年 度までの累計)	3項目	令和3年度までに導入した ペーパーレス化は3項目で あった。	行政文書システム、伝票システ ムのペーパーレス化のため、シ ステム変更を行う。

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

地球温暖化対策としての取組みがエアコン使用時における温度設定であり、夏・冬それぞれ1回ずつ行政放送にて広報を行いました。1人あたりの燃やせるごみの排出量は目標値を大きく上回ってしまいました。気候変動に関する具体的な取組は行えませんでした。地球温暖化対策としての取組は令和3年度同様継続して実施していきます。ごみの排出抑制のための取組みとして生ごみ処理機器の購入補助を実施しているため、広報回数を増やし、目標値に近づけるよう取り組んでいきます。気候変動についての具体的な取組を進める上でまずは知識を深め、本市に適した取組を考えていきます。

(総務課)

令和4年度以降のペーパーレス化を本格的に推進するため、現在紙で出力しているシステムについて、ペーパーレス化するためのシステム変更を行い、令和5年度から行政文書及び伝票をペーパーレス化する予定です。また、全職員にPCモバイルノートを配布し、ペーパーレス化したファイルをどこでも閲覧できるようにする予定です。

(財政課)

温室効果ガスについては、平成25年度比で6.05%減少しており、目標を達成しているところであるが、新型コロナウイルスの影響による遠隔地での会議や研修がリモート開催となり、公用車への乗車機会が減ったことによる排出ガスの減少も考えられるところであるため、今後も引き続き空調の使用時間の制限等の取組を継続して行きます。

また、低排出ガス車については、出張用の車の更新に合わせ、低排出の車両に切り換えて行きます。

(会計課)

庁内で使用する紙や文具類、消耗品などについては、グリーン購入法に従って、環境に配慮された商品の購入を推進します。

(企画課)

思いやりバス・タクシーの利用者数は令和3年度は44,693人となりました。令和2年は43,493人であり、両年とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けた結果となりました。タクシー・バス毎で比較すると、思いやりバスが令和2年～3年にかけて、利用者が回復傾向にあるのに対し、思いやりタクシーは、利用者が減少しています。これは高齢化の進行による利用者の減少もあると思われます。今後も利用しやすい運行形態を模索していき、また、JRへの便数増加の要請を行っていきます。

(教育委員会総務課)

令和3年度現在 市内23小中学校

【教室】1校新築時に全LED化、それ以外は照明設備修繕に故障箇所のみLED化をしました。

【体育館】非構造部材耐震工事を令和元年度に7校、令和2年度に8校実施し、併せてアリーナ部分をLED化しました。3校体育館改修時にLED化、それ以外は照明設備修繕に故障箇所のみLED化をしました。

【武道場】3中学校の内、1校LED化しました。

3-2 家庭ごみの不法焼却に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
27	不法焼却に関する苦情件数	市民課 総務課	0件/年	15件	行政放送や自治会便にて不法焼却禁止を呼び掛けた。	継続して実施
	家庭ごみ・野焼きに起因する火災件数	市民課 総務課	13件以下/年	15件	火災予防運動期間及び火災多発時等において、火災予防広報活動を実施した。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度の不法焼却に関する苦情件数は、15件でした。内容は、枯木・枯草等の焼却によるものがほとんどです。常時、行政放送にて野焼き禁止の広報い、また自治会便にて野焼き禁止の広報も行いました。令和4年度も同様に取組を行っていきたいと思います。

(総務課)

春・秋の火災予防運動期間、火災多発時等において、行政放送広報及び消防団による火災予防啓発チラシの配布、消防車両を活用した火災予防広報・巡回を実施しました。
今後も、継続して火災予防啓発活動に取り組みます。

3-3 事業所の不法焼却に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
28	事業所の不法焼却件数	市民課	0件/年	1件	令和3年度事業所の不法焼却は1件であった。	行政放送や広報誌にて不法焼却禁止の周知を行っていく。

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度の事業所の不法焼却件数は1件でした。常時、野焼き禁止の広報はFMにて放送しています。令和4年度も同様に周知を行っていきます。

3-4 騒音・振動・悪臭に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
29	環境基準達成率	市民課	100%/年	97.70%	例年通り高い水準を保っている。	継続して実施
30	騒音苦情件数	市民課	0件/年	2件	発生原因者を調べ、指導を行った。	継続して実施
	振動苦情件数	市民課	0件/年	0件	-	継続して実施
	悪臭苦情件数	市民課	0件/年	29件	発生原因者を調べ、指導を行った。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

環境基準達成率は例年通り高い水準を保つことができているため自動車騒音常時監視を継続して行いたいと思います。騒音苦情や悪臭苦情の対応については、発生原因者を特定し、指導を行い改善させることができました。悪臭の苦情は堆肥の野積みや野焼きの煙が多いため、関係課と連携し、対応していきたいと思えます。

3-5 光化学オキシダント・PM2.5対策に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
31	訓練実施回数	市民課	各1回/年	各1回	それぞれ1回訓練を行った。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度鹿児島県との伝達訓練をそれぞれ1回ずつ実施し、光化学オキシダント・PM2.5発令時における初動対応等を見直すことができました。

令和4年度についても、継続して実施していきます。

第3節 農畜産プロジェクト ～循環型農業を推進し、食と農畜産を未来に受け継ごう～

農畜産業は、本市の基幹産業であり、本市の食と農は将来に渡って受け継ぐべき魅力のひとつです。近年は、過疎化や高齢化などによる農畜産業の担い手不足が引き起こす農地の荒廃や、施肥や農薬による生物多様性、地下水への影響が課題となっており、これからの農畜産業の活性化に関する取組みが農畜産プロジェクトです。

3-1 農畜産業の持続的な発展に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
32	新規就農者数	農林振興課	8人/年	3名	令和3年度の対象となる新規就農者は、3名だった。	継続して実施
	スマート農業技術導入	農林振興課	1農家1技術/年	1農家/年	ドローン導入	継続して実施
33	ふるさと納税額	商工観光課	13億円/年	16億円	ふるさと納税をとおし、地元農畜産品を使用した返礼品を対外的にPRした。	継続して実施
34	体験型民泊の受け入れ	商工観光課	50人/年	120人	修学旅行を中心に、体験型民泊の受け入れを積極的に実施した。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(農林振興課)

新規就農者については、各関係機関と連携し、担い手確保に努めます。
スマート農業については、研修会を実施し、引き続きスマート農業を推進を行っていきます。

(商工観光課)

ふるさと納税に関しては、今後も地場産品を活用した新たな返礼品を開発し市外へPRすることで、地域の農畜産業の活性化に繋がっていきたいと思います。
体験型民泊の受け入れについては、新型コロナウイルスの影響もあってか、修学旅行での民泊の申し込みが増加しました。令和4年度についても既に例年以上の申し込みがある状況であり、積極的に受け入れていきます。

3-2 農地の保全に関する施策

< 環境指標・目標 >

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
35	活動組織の広域化による組織数	耕地課	3団体 (2030年度まで)	11団体	各組織に説明会を実施し設立について協議をした。	継続して各組織と協議を行なう予定。
36	中山間地域等直接支払制度利用件数	農林振興課	8件/年	8件	大隅, 財部地区内の8地区で実施	継続して実施
37	遊休農地の解消面積	農業委員会	16ha/年	21ha	賃借 非農地判断	継続して実施
38	「人・農地プラン」の実質化	農林振興課	市内全域完了 (2030年度まで)	100.00%	市内全域については, R3年度完了した。	今後, 制度改正等で細分化される予定であるため, 継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(耕地課)

末吉・大隅地区の各組織へ広域化について今後も説明を行い理解を深めてもらい各地区ごとの広域組織を設立準備をする。

(農林振興課)

令和3年度は, 市内8地区で中山間地域等直接支払制度を活用し, 耕作放棄地発生防止に取り組みました。今後も引き続き制度を活用し, 放棄地発生防止に努めます。

人・農地プランの実質化につきましては, 令和3年度に市内全域完了となりましたが今後, さらに細分化される予定であるため, 引き続き取り組みます。

(農業委員会)

令和3年度の遊休農地の解消面積については21haが解消されました。今後も農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し, 現地調査及び個別相談活動等を行い, 新たな発生防止と農地中間管理事業等の活用を推進し, 遊休農地の解消を図ります。

3-3 環境保全型農業の推進に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
39	家畜排せつ物の受け入れ量	畜産課	14,000t/年	13,973t	一時攪拌機が使用できずに対処処理能力が間に合わず受け入れが出来なかった。	継続して実施
	完熟堆肥に販売量	畜産課	6,000t/年	5,891t	甘藷基腐病拡大により甘藷農家の利用減少等が考えられるが袋製品は出荷量が増加した。	継続して実施
40	堆肥による悪臭の苦情件数	農林振興課 市民課	0件/年	7件	土地耕作者を調べ、早急に耕耘するよう指導をした。	継続して実施
41	土壌診断の地点数	農林振興課	300地点/年	406点	土壌診断を基に、施肥改善指導を行った。	継続して実施
42	農業用廃プラスチック類回収量	農林振興課	500t/年	511t	適正処理の周知と年6回の一斉回収を行った。	継続して実施
	農業用廃プラスチック類の不法焼却、不法投棄件数	農林振興課	0件/年	0件	適正処理の周知と年6回の一斉回収を行った。	継続して実施
43	規制対象農家への補助金件数 ※堆肥者・尿溜槽	畜産課	8件/年	3	今年度においては資材の高騰により、申請の取り下げがあったため目標値には届かなかった。	継続して実施
	パドック設置補助金件数	畜産課	8件/年	6	今年度においては資材の高騰により、申請の取り下げがあったため目標値には届かなかった。	継続して実施
44	規制対象外農家への指導件数	畜産課	100%/年	随時	農家巡回時に指導を実施している。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(畜産課)

家畜排せつ物の受け入れ量及び堆肥の販売量においては目標達成予定であるが、堆肥者・尿溜槽、パドック牛舎設置においては資材の高騰等があり件数が少なかった。また、規制対象外農家への指導においては農家巡回等に随時指導を行っています。今後も目標達成に向けて継続していきます。

(農林振興課)

令和3年度の土壌診断依頼点数は406点、農業用廃プラスチック類の回収は511トンの実績となりました。講習会や自治会回覧等で引き続き周知、啓発を行っていきます。

(市民課)

令和3年度に市民課で対応した堆肥による苦情件数は7件でした。耕作者を調べ、早急に耕耘するよう指導を行いました。令和4年度は関係各課と協力し、堆肥による苦情が減少するよう努めていきます。

第4節 森林プロジェクト ～多様な機能を持つ、森、里山を守り育てよう～

森林は公益的な多面的機能があり、また、二酸化炭素を吸収することで地球温暖化対策にも重要な役割を果たしています。しかし、近年過疎化や高齢化などにより林業の担い手が不足し、森林の荒廃が進むことで多面的な機能が十分に発揮できない状況にあります。そのような課題を解決していくための取組みが森林プロジェクトです。

3-1 林業の持続的な発展に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
45	新規就業者数	農林振興課	2人/年	2人	林業就労支援講習を実施し、10人中2人が就業した。	継続して実施する。
46	公共工事における地元産木材使用施設数	農林振興課	5施設 (2030年度までの累計)	1施設 (岩川小学校)	内装材に地元産の木材を使用	計画なし
47	もみじの植栽本数	農林振興課	200本/年	30本 累計10,202本	シカによる食害が発生していることから大苗を植栽した。	シカによる食害が発生しているため大苗を植栽する。

進捗状況と今後の取組み予定

(農林振興課)

公共事業で建築する施設については、地元産の木材を使用するように配慮しています。今後の計画については市役所庁舎及びキャンプ場施設について地元産木材を活用する計画です。

悠久の森への植樹に関しては、シカの食害があり、大苗の植栽を行っていることから目標達成をできませんでした。今後は、シカ対策を検討しながら自然環境体験の場及び憩いの場としての森林整備を推進します。

3-2 森林の整備・保全に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
48	観光交流人口	農林振興課	45,000人/年	45722人	計画目標を達成した。	継続して実施
49	民有林の間伐面積	農林振興課	30ha/年	53ha	計画目標を達成した。	継続して実施
	民有林の下刈り面積	農林振興課	650ha/年	628.26ha	おおむね計画目標を達成した。	継続して実施
50	市有林の下刈り面積	農林振興課	60ha/年	49.55ha	林道の下刈りが増加したことから市有利内の下刈りが減った。	継続して実施
51	再造林面積	農林振興課	250ha/年	259.82ha	計画目標を達成した。	伐採面積が増加していることから再造林面積についても増加させる。
52	駆除頭数	農林振興課	イノシシ:680頭/年 シカ:60頭/年	イノシシ 950頭 シカ 105頭	駆除隊の協力により捕獲頭数が増加している。	イノシシの捕獲単価の増額により捕獲目標を達成する。
	ジビエ加工処理施設	農林振興課	1件 (2030年度までに)	0件	曾於市ジビエ活用推進協議会で検討中	曾於市ジビエ活用推進協議会で検討中する。

進捗状況と今後の取組み予定

(農林振興課)

観光交流人口については、観光地のインフォメーションが不足していることから、さらなるPRを図ります。森林整備の推進については、伐採面積が増加している中、再造林・下刈り・間伐等に対する補助事業を活用しながら適切な森林整備を実施しました。今後は、広葉樹の植栽を推進し、多様な森林づくりを目指しながら、本市の森林整備に取り組みます。現在、森林整備における林業の担い手及び労働力不足が課題となっており、森林環境譲与税事業等を活用しながら森林整備を実施します。

3-3 外来生物に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
53	外来生物の広報依頼回数	市民課	2回/年	0	市HPにて外来生物の広報は行っているがHPの更新や行政放送での広報は行えなかった。	市HPの更新や行政放送での広報を行う。
	外来生物の駆除件数	市民課	1回/年	1	ヤンバルトサカヤスデの駆除を行った。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度は外来生物の広報は行えませんでした。外来生物の駆除は、1か所ヤンバルトサカヤスデが大量発生しているところがあり駆除を行いました。令和4年度は、曾於市内にいる外来生物を把握し、広報及び駆除を行います。

第5節 水プロジェクト ～安心・安全な水資源を保全しよう～

水は生命の源であり人を含む多様な生態系に大きな恩恵を与えています。本市において、生活排水や事業所からの排水が未処理のまま河川に流れ込んでいるところもあり、そのような課題を解決していくための取組みが水プロジェクトです。

3-1 生活に必要な水に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
54	各年度の上水道関連事業の実績報告	水道課	-	100.00%	アセットマネジメント完了	アセットマネジメント完了
55	井戸水の水質検査結果報告	市民課	-	-	曾於市内井戸所有者を選定し、水質検査の実施を行った。	継続して実施
56	小規模水道組合水質検査補助実施率	市民課	100%/年	100%	申請されたすべての組合に対して補助金を交付できた。	継続して実施
	小規模水道組合施設修繕補助実施件数の実績報告	市民課	-	8	申請されたすべての組合に対して補助金を交付できた。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(水道課)

取組みを継続して行っています。

(市民課)

令和3年度の小規模水道組合への各補助金の補助実施率は100%でした。令和4年度においても継続して取組を実施していきます。

3-2 排水に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
57	下水道加入率	水道課	100% (2030年度 までの累計)	71.80%	R2年度70.77% 1.03%増	市ホームページや広報紙等を活用し、下水道接続の推進を図る。
	合併処理浄化槽設置数	水道課 財部支所 地域振興課	175基/年	53.71%	R2年度108基61.71% 14基8%減	合併処理浄化槽設置補助金制度の周知に努め、普及促進を図る。
	汚水処理人口普及率	水道課 財部支所 地域振興課	100% (2030年度 までの累計)	70.22%	R2年度68.16% 2.06%増	下水道接続の推進と合併処理浄化槽の普及促進に努める。
58	誘致企業の公害防止協定締結率	企画課	100% (2030年度 までの累計)	100.00%	3企業との立地協定の締結があり、全ての企業と公害防止協定を締結した。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(水道課)

下水道加入率と合併処理浄化槽設置率に関連する汚水処理人口普及率は微増傾向にあります。市のホームページや広報紙等を活用し、補助金制度の周知を図るなど普及促進に努めていきます。

(企画課)

令和3年度内の誘致企業は全て製造業(3社)であり、製品製造過程で排水を伴う企業であることから、公害防止協定書の締結の趣旨及びその内容の確認をいただき内容を承諾の上、全ての企業と締結することができました。

今後も企業を誘致するにあたり企業立地協定締結時に公害防止協定もセットで締結することの啓発を引き続き推進していきます。

3-3 河川や海に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
59	マイバッグ広報 依頼回数	市民課	4回/年	0回	行政放送や広報誌での広報 を行えなかった。	行政放送と広報誌を利用し、マ イバッグの使用を呼び掛ける。
	ペットボトルの排出量	市民課	-25% ※2020年度比	+2.5%	2020年度よりも増えてしまっ た。	マイボトル使用を呼び掛け る。
60	大淀川水系水質浄化 に係る啓発活動回数	市民課	1回/年	1回	大淀川水系の協議会にて作 成した物品を河川浄化等推 進員へ配布した。	継続して実施
	水質モニタリング結果 の公表	市民課	-	-	水質調査を行ったが、公表 はしていない。	継続して実施 審議会にて公表するかの検討。
61	河川の水質調査 結果の公表	市民課	-	2回	令和3年度審議会を2回行 い、報告を行った。	継続して実施
	事業所排出水水質 検査結果の公表	市民課	-	0回	水質基準を超過した事業所 に対しては改善報告書を提 出してもらった。	継続して実施
	水質汚濁事案件数	市民課	0件/年	0件	令和3年度は水質汚濁事案 件数は0でした。	河川浄化等推進委員と協力し、 引き続き河川浄化に努める。
62	河川浄化等推進員 監視回数	市民課	12回/年・人	12回/年・人	漏れなく報告があった。	継続して実施
	河川愛護活動 実施団体数	建設課	6団体 (2030年度 までの累計)	6	6団体が県管理河川の伐採 清掃を行った。	継続して実施
	河川愛護活動 実施回数	建設課	1回/年	1	河川愛護活動を1回行った。	継続して実施
63	広報依頼回数	市民課	4回/年	1回	7月河川愛護月間時に広報 を行った。	継続して実施

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

プラスチックの削減対策の広報を十分に行えませんでした。河川関係は水質調査及び監視を定期的に行い、大きな水質事故等はありませんでした。令和4年度も同様に水質調査や河川監視等を行います。

(建設課)

河川愛護活動は、活動を通して、水辺の生態系や環境を守るとともに、水資源が安全で安心して利用できる環境を維持向上を目的としています。

昨年と同様に河川愛護活動として、伐採や清掃を行いました。

令和4年度についても、継続して実施していきたいと思います。

第6節 暮らしプロジェクト ～環境負荷の少ない暮らしを実行しよう～

私たちの生活は環境に大きな負荷を与えており、地球温暖化や海洋プラスチックごみは大きな問題の一つです。ごみの発生抑制と再資源化に取り組み、市民一人ひとりの行動と行動を促すための施策をし、現在の課題の解決に向けた取り組みが暮らしプロジェクトです。

3-1 エコライフに関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
64	広報依頼回数	市民課	4回/年	0回	-	知識習得を行い、行政放送や広報誌で広報を行う。
65	ごみ排出量の推移の報告	市民課	-	-	ごみ排出量は減少した。	更なるごみ減量のための取組みを検討する。
	資源ごみ回収量の推移の報告	市民課	-	-	資源ごみ回収量は減少した。	更なるごみ減量のための取組みを検討する。
	生ごみ処理機器購入件数	市民課	70件/年	41件	行政放送や広報誌にてごみ減量の広報を行った。	継続して実施
66	市役所所管施設の緑のカーテン実施数	市民課	20施設 (2030年度までの累計)	1施設	財部支所にて行った。	継続して実施
67	民間業者の事業実施件数	市民課	1件 (2030年度までの累計)	0件	対象事業なし	広報誌や市HP等での広報を行う。

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

令和3年度のごみ排出量は減少しましたがエシカル消費や地産地消の促進については広報を行えませんでした。エシカル消費や地産地消の取組みについての知識を深め、市民全員で取り組むことができる活動を検討していきます。生ごみ処理機器の購入件数が年々減少傾向にあるため、行政放送や広報誌等での掲載回数を増やします。

3-2 まちに関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
68	樹木の伐採回数	建設課 耕地課	1回/年	1	建設業やシルバー人材センターへの委託及び直営の維持班により1回以上伐採を行った。	継続して実施
	自治会への清掃依頼の実施	建設課 耕地課	毎年依頼	1	地域の環境美化のため周辺の伐採と清掃を行った。日常の維持管理の重要性について「市報SOO」を活用し啓発を行い環境の維持向上を図っている。	継続して実施
69	条例の制定	建設課	制定 (2023年度まで)	0	条例制定に向けて景観計画策定の検討を行った。	継続して実施
70	橋梁点検	建設課	1回/5年	1	橋梁点検を行った。	継続して実施
71	道路一斉清掃報奨金交付件数	建設課	417件/年	401	地域の環境美化のため周辺の伐採と清掃を行った。全自治会が活動している。(自治会統廃合等による数値)	継続して実施
	マインドロード補助金交付件数	建設課	7件/年	7	年2回の伐採清掃を行った。	継続して実施
72	道の美化里親ボランティア団体数	建設課	155団体 (2030年度までの累計)	154	団体や個人が地域の美化活動を随時行っている。すべての団体個人が活動を行った。(加盟団体の減による数値)	継続して実施
73	空き家の適正管理指導件数	建設課 企画課	10件/年	15件	相談(通報)のあった空き家について、所有者や管理者に対して適正管理の通知を送付した。	継続して実施
	空き家バンク登録件数と契約成立数	建設課 企画課	登録:80件 契約:40件 (2030年度までの累計)	登録:10 契約:4	空き家バンク周知のため、固定資産税の納付書に空き家バンクの案内を同封して送付した。	継続して実施
74	花苗の年間配布件数	農林振興課	13万本/年	13.9万本	年2回の花苗配布を行った。	継続して実施
75	各公園の定期点検	建設課	1回/年	1	定期点検を1回実施した。	継続して実施
	安全基準満たさない遊具の改修・撤去	建設課	100%/年	100%	安全基準満たさない遊具の改修を6基実施した。	継続して実施
	芝生等の維持管理回数	建設課	7回/1公園・年	7	芝生等の維持管理を7回行った。	継続して実施
76	公営住宅建て替え件数	建設課	2件 (2025年度までの累計)	1件	老朽化していた桜ヶ丘団地の建替事業を令和2年度に実施した。	次期計画である末吉地区の建替事業に向けての準備を継続して実施していく。
77	ペットに関する苦情件数	市民課	0件/年	23件	飼い主に飼い方の指導を行った。	継続して実施
	猫の避妊・去勢に関する補助金要綱の制定	市民課	2030年度までに制定	未策定	策定に向けて検討中	R4年度より、どうぶつ基金を活用した無料不妊手術を実施するため要綱を策定した。
78	高齢者ごみ出しについてのアンケート調査の実施	市民課	1回 (2023年度までに)	0回	2022年度実施に向けて審議会や市役所関係各課と協議を行った。	実施予定
	高齢者のごみ出しについてのアンケート調査の結果、必要と判断した場合の施策の策定	市民課	策定 (2026年度まで)	未策定	アンケート結果に基づき、2023年度より対策の検討を行う。	アンケート結果に基づき、2023年度より対策の検討を行う。

進捗状況と今後の取組み予定

(建設課)

美化活動により市道が住民の生活において、重要であることを住民一人一人が意識し、道路愛護の推進に努めていきます。また、継続して実施することにより環境の保全・向上を図りたいと思います。

管理不全の空き家に対し指導・助言を行ったにもかかわらず改善のみられない場合は、空家特措法に則り措置を実施していきます。

(耕地課)

伐採等清掃を行い道路を利用する地域住民へ道路環境の維持向上を促進します。

継続して実施することにより環境の保全・向上を図ります。

(企画課)

令和3年度の空き家バンク登録件数は10件で契約は4件でした。空き家バンクの周知のため、固定資産税の納付書を送付する際に案内を同封しました。令和4年度についても市民の皆さんに空き家バンクの周知をできるよう新たな取組を行いたいと思います。

(農林振興課)

花苗を春、秋の年2回、延べ322団体へ13.9万本配布して地域の環境美化に取り組みました。令和4年度も引き続き配布を行い、地域環境美化に取り込んでいきます。

(市民課)

令和3年度のペットに関する苦情件数は、23件でした。内訳としては猫の苦情が15件、犬の苦情が8件で、猫の苦情が半分以上占めています。苦情の対応としては、発生原因者が特定されている場合は直接指導もしくは文書で指導を行いました。令和4年度についても同様に行います。

また、高齢者のゴミ出しアンケートについては、アンケートの実施は行えませんでした。内容や実施時期についての検討をし、令和4年度実施に向けて準備を行いました。

3-3 災害に関する施策

<環境指標・目標>

施策番号	指標	担当課	目標値	令和3年度		令和4年度
				数値	進捗状況	取組み
79	災害廃棄物処理計画の策定	市民課	策定 (2021年度まで)	策定済	-	-
	見直し状況	市民課	1回/年	0	2020年度末に策定したため、見直しは行っていない。	必要であれば計画の見直しを行う。

進捗状況と今後の取組み予定

(市民課)

災害廃棄物処理計画を令和2年度末に策定していたため、令和3年度は見直し等行っていない。令和4年度以降については、災害廃棄物の処理に関する知識を深め、その中で見直すべき事項等あれば改定をしていきたいと思っています。